

# 復興に駆ける！

第 20 号  
平成 26 年 3 月 14 日発行  
若手県立  
生涯学習推進センター

## 認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 中村 順子 理事長



中村理事長

中村理事長は、1995年1月の阪神・淡路大震災を契機に生まれたボランティアグループ「東灘地域助け合いネットワーク」（現「NPO法人東灘地域助け合いネットワーク」）で支援活動を行う中で、「もっと有効な支援の仕方があるのではないだろうか」と考え、12月には英国に渡り、NPOの支援活動を行う「中間支援団体」について学んだ。そして、帰国後の1996年10月に、「NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸」（以下CS神戸）を発足した。

CS神戸では現在、中間支援以外にも、シニア世代を対象にした「いきいき社会貢献塾」や就労支援研修「ハンズオンインターンシップ」など様々な事業を展開している。東日本大震災以降は、東京に本部を構える「さわやか福祉財団」と連携し、大槌町を30回以上も訪れ、支援活動を展開している。中村理事長が、繰り返し現地に足を運ぶ中で感じたことは、NPOを支援する団体が少ないということである。地元のために何か役に立ちたいという熱い思いを持ってNPOを立ち上げた人たちが、これから復興を迎えるまでの長い間、どうやってNPOを運営すればよいのか、そのノウハウを教えてもらったり、相談したりできるところはまだまだ少ないという。相談できるところが身近に有ると無いのでは、NPO活動の進展が全く違って来るそうである。これを早急に解決すべく、NPOの勉強会を開催したり、相談にのったりしている。また、大槌で作られた製品をCS神戸内で販売したり、様々な場で製品を紹介しながら購入してもらう活動も行っている。

「住民とNPOが対等な関係で寄り添い、その両者を行政が支えるような仕組が理想。そのため土台作りを今一生懸命やっている段階。まだまだ大槌に寄り添っていきます。」と中村理事長は話してくださいました。

遠い兵庫県から本県復興のために何度も足を運んでくれる方がいることは、とても心強い。

認定NPO法人  
コミュニティ・サポートセンター神戸  
TEL 078-841-0310  
Email : info@cskobe.com